

# 学校評価結果と令和6年度に向けて【柏第五小学校】

## 1 柔軟な発想力（状況に応じたアイデアを生み出す力）の育成に向けて

今年度も、本校の学校教育目標の「創造性豊か」に焦点を当て、「創造性豊か」を「柔軟な発想力（状況に応じたアイデアを生み出す力）」と捉え、体験活動や問題解決学習を多く取り入れたり、児童の主體的な活動場面が設定できるようにしたりしながら、思考力、コミュニケーション力、表現力の育成に努めてまいりました。

今年度、新たに学校運営協議会が発足し、地域や保護者の方の協力を得ながら、五小わくわくフェスティバル等の体験活動を充実させることができました。保護者アンケート「学校は、よりよい学校づくりに向けて、教職員や保護者、地域と連携・協力しながら教育活動を行っている。」の項目で肯定的回答（そう思う、ほぼそう思う）が80%と高い結果となりました。職員自己評価「家庭や地域等と連携しながら、創意工夫した体験活動や学校行事を実施した。」の項目も、昨年度よりも上昇し、高い結果となりました。

しかしながら、「思考力、コミュニケーション力、表現力の育成」に目を向けてみると、児童アンケート「思ったことや考えたことを先生や友達にわかりやすく伝えることができるか。」の項目で肯定的回答をした児童は78%、保護者アンケート「お子さんは、自分の思いや考えを、先生や友達にわかりやすく伝えることができる。」の項目では、昨年度よりも向上しているものの、肯定的な回答が61%とやや低い結果となりました。

学校運営協議会からは、「学校行事等で地域や保護者と連携した取り組みが成果として表れ、児童の意欲につながっている。」とのご意見をいただきました。また、ICTの活用について多くの意見が出され、「家庭学習においても、使い方を十分に指導した上で、ICTをより効果的に活用するとよいのではないか」とのご意見もいただきました。

思考力の育成には、学習の基礎・基本の定着が大切であり、家庭学習が要となります。家庭学習に関する保護者アンケートも肯定的回答が59%と低いので、家庭学習の進め方について、クロムブックやiPadの持ち帰りを検討し、ICTの活用も取り入れていきたいと思えます。また、引き続き、地域や保護者の方と連携し、体験活動や問題解決学習を多く取り入れながら、「思考力、コミュニケーション力、表現力の育成」に努めていきます。

## 2 教育相談の充実と情報モラル教育の推進

職員自己評価「適宜教育相談を行って児童の悩みや問題行動に対応できた」「児童の困りごとへの対応について、家庭と密に連絡をとった」等に関する項目では、やや高めでしたが、保護者アンケート「いじめ防止等の取り組みや指導」と「相談しやすい環境」の項目について、肯定的回答が63%、73%と昨年度よりも向上しましたが、やや低い結果となりました。いじめ防止に向けた研修及び児童への指導を計画的に行うとともに、児童との教育相談週間をさらに充実させたいと思えます。

情報モラル教育については、保護者アンケート「ICTを活用した授業や情報モラル教育の実施」に関する項目において、肯定的な回答が昨年度より10%上昇しました。各担任のICTの利活用に関する意識が高まり、職員同士で研修を行ったり、授業に効果的な教材等を共有したりしながら、実践につなげています。また、今年度は、土曜参観日に4～6年生に向けて、外部講師を招きネットモラル授業を行ったり、6年生については、中学校に向けて少年補導センター職員を招聘してインターネットの危険性について授業を行ったりすることができました。引き続き、情報モラル教育の充実を図るとともに、ICT端末の家庭への持ち帰りを視野に入れ、ご家庭との連携を図っていきたいと思えます。

## 3 食育の一層の推進

食育は、一生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基礎をつくるために行われるものです。その一つが学校給食であり、保護者アンケートの学校給食に関する肯定的回答は、94%と群を抜いて高い結果となりました。今年度も、栄養教諭が中心となって、様々な教科等で食育を推進してきました。引き続き、教職員や児童と共に、食育の一層の推進を行っていきます。